

会議開催結果

1	会議の名称	広田地区地域審議会
2	開催日時	令和4年9月28日（水）19時00分から
3	開催場所	砥部町ひろた交流センター 2階 大ホール
4	審議等事項	【議題】 (1) その他 砥部町国民健康保険診療所医師住宅について
5	出席者名	【地域審議会委員】 西岡浩二、日野林一樹、西岡真由美、一ノ宮修 土井千砂美、太田由美子、藤原佳祐、田中浩幸 松尾利勝 （欠席者：向井京子） 【町長】 佐川秀紀 【副町長】 岡田洋志 【総務課】 門田敬三 【事務局】 町田忠彦、武田妙子、日野林学
6	公開又は非公開の別	公開
7	非公開の理由	—
8	傍聴人	0人
9	所管課	総務課 広田支所 電話 089-969-2111

第 26 回広田地区地域審議会会議録

発言者	発 言 内 容
事務局	開会宣言
	委嘱状交付
町長	町長あいさつ
事務局	町関係出席者の紹介
支所長	地域審議会の所掌事項について
事務局	砥部町地域審議会条例第 8 条第 3 項の規定により「会議は委員の過半数の出席がなければ、これを開くことができない」となっており、本日は、委員 10 人中 9 人の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。 それでは、会長及び副会長の選任に入らせていただきます。 砥部町地域審議会条例第 7 条に「地域審議会に会長 1 人及び副会長 1 人を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定されています。 なお、互選の方法については、特に定められていませんが、立候補又は推薦、更に投票などが考えられます。いかがいたしましょうか。
委員	互選の方法については、推薦としてはどうか。
委員	事務局で案はありますか。
事務局	事務局の案としましては、一ノ宮修様に会長を、田中浩幸様に副会長をと考えております。事務局の案で承認いただける方は、拍手をお願いいたします。 (承認)
会長	就任あいさつ
副会長	就任あいさつ
事務局	それでは、議事に移りたいと思います。議事につきましては、砥部町審議会条例第 8 条第 2 項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、

	会長に議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
会長	それでは、議事に入りたいと思います。 砥部町国民健康保険診療所医師住宅について、担当課から説明をお願いします。
総務課長	砥部町国民健康保険診療所医師住宅について説明
会長	説明が終わりました。何かご質問、ご意見などございましたらお願いします。
委員	医師住宅は、以前から空き家状態であったが、多額の公金を費やしており、こういった形で有効利用することは、大変ありがたいことだと思います。心配なことが一つあるんですけど、仮に今の医師が定年までに退任する場合に、医師住宅の有無が募集に関係すると思うのですが。
総務課長	新任の医師の考えもあるかと思います。また、今後、広寿会でもずっと実習生を受け入れていくのかどうかということもあろうと思います。もし、医師交代時に住宅の問題が生じた場合は、対応を検討の上、ご相談させていただければと思います。 大変交通の便も良くなっており、通勤する方法もありますし、広田地域で生活する場合も想定されます。この点については、適切に対応しなくてはいけないと思っております。
委員	当事者でもありますので、一言、ご報告をさせていただきます。 今回、砥部町さんをご相談をさせていただいて、貸していただけるということで、水回り等の直さないといけない箇所があったんですけども、改修をさせていただいて、綺麗な状態で9月1日からお借りをし、現在、2名の女性職員が居住しております。 それに先立って、8月24日に総津地区の総会がありまして、出席させていただき、顔写真を皆さまに見ていただいて、このような職員が来ますので、よろしくお願いしますという、ご挨拶をさせていただきました。 それと先般、先週日曜日に広田地区の運動会にも一緒に参加をして、少し競技にも参加をさせていただきました。 これからいろいろな行事が徐々に再開していくということですので、いろいろな場面で、地域の方と触れ合う機会を持っていきたいと思います。 やはり一部では海外から来るということで、ご心配をされている方もいらっしゃると思いますので、少しでも安心をしていただけるように、こちらも気を付けていきたいと思いますので、地域のほうでご心配なことや何かご意見がありましたら、広寿会のほうにお伝えいただければ、改善をしていきたいと思

	ますので、この場を借りてお願いをしたいと思います。
町長	質問ですが、研修生ということで、例えば2年とか3年で順々に変わるのか、ずっと居られるのであれば、5年とか10年とか、同じ人がずっと勤めることができるのでしょうか。
委員	技能実習制度というのが、1年目が1号、2年目・3年目が2号で、そこで継続するようであれば3号、4年目・5年目が3号という形で、最長5年の継続ができるということになっています。 その先については、本人が資格を取ってということがあれば、今度、特定技能という制度を使い、そうなるとある程度の定住というところも視野に入れて動くことができるという話は聞いております。 今回初めて受け入れるに当たって、やはり、過疎の地域でどのように受け入れたらいいのか、他の法人さんとかにもお伺いをしていろいろと教えていただいたんですが、やはり都会に憧れて、ある程度すると都会に出ていくことが多いということも言われてますので、3年間は必ずここでということが決まっておりますので、定期的に後輩を入れて、人員の確保というところもしていきたいと思いますが、広田がいいなと思ってくれれば、その先というのも、可能性としてあるかなと思いますので、大事に育てていきたいと思いますので、是非、温かい目で見守っていただけたらと思います。よろしくお願いします。
会長	他にご意見ございませんでしょうか。 私から一つ構わないですか。私は長く審議会の委員をやらせていただいておりますが、広田にとって何が残せるか、そういうことを常日頃考えており、そういう組織、これはとてもいいなというふうに考えておりました。これからも、繋げていっていただきたいというふうに思います。 医師の空いている家も、広田地区の財産でございましたが、大変気にしていただいて、いろいろ話をさせていただいたと思います。そういった中で、何かに使えるようにと思っていましたが、それが出来たということに、感謝したいと思います。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。 他にご意見ございませんでしょうか。
町長	議事において、その他で国保診療所になっておりますが、その他でどんなことでも構いませんので、もしご意見がありましたらどうぞ。
委員	私の地域に上尾の町有地が10ヘクタールほどあるんですが、ここは、平成4年頃に民地から旧広田村が購入して開発するといった経緯があるんですけど、最初は運動公園ということで、かなり気合を入れてその方向で進めていたんですけど、なかなかいろんな問題が生じて、出来なくなったというふうなことで、

	その後、企業誘致とかいろいろ事業も考えたりしたことがあったかと思うんですけど、これもなかなか実現出来なくて、そのうちに新砥部町ということで合併しまして、合併後もあまりこれはどうという利用方法については、あまり進展がないような状態で、それが現在も続いているということなんですけど、今、町として10ヘクタールという広い土地をどのようにお考えなのか、ちょっと伺いたいなと思ひまして。
町長	この土地については、旧広田村の時代にいろいろと計画をされて、計画の内容を一部お聞きしたりしたこともありましたが、実現をしておりますが、真ん中に河川だったりとかいろいろするんで、なかなか個人的には自然公園みたいな形で利用したらいいかなという気は持っておるんですが、今のところ具体的な計画を持っておりません。 もし、地域の人が、こういうことをしたらいいんじゃないかと、いろいろありましたら、またご提案をいただいたら、十分検討させていただきます。
委員	どうもありがとうございます。 なかなか財政的にもいろいろ有効利用というのは、なかなか今の経済事情の厳しい部分もあろうかと思うんですが、ただ、遊休地というか町有地の中に、道路というか作業道的なものが走っているんですけど、以前はグリーンキーパーさんあたりが草刈りとか、その管理をちょっとしていただいていたのですが、ちょっと今はもう大草が生えて、なかなか道路が通りにくくなっているんですが、年に1回ぐらいは草刈りとかそういうようなことはできないかなと思ひ聞いてみようかと思ひました。
町長	町有地の中の道路ですが、利用されている方はおられるんですか。
委員	あその先に農地があるので、2軒ほどではあるんですが使っています。 利用者が草刈りながら通ったりするんですが、なかなか凄い草になっているので、もし刈っていただければ、ありがたいなと思ひまして。
町長	分かりました。ちょっと調査してみます。個人というか、道路として使われるんですね。
委員	はい、そうです。よろしくお願いします。
会長	よろしく検討のほうをお願いいたします。 何でもいいですが、他にございませんか。
委員	高市地区なんですけど、旧の教員住宅の裏側というか川側というか、周り全体

	に結構草というか木が大きくなっていて、あの辺で子どもが遊んだりするので、見た目も悪いしちょっと危ないというか、何が出てくるか分からない感じになっているので、後継者住宅の方は、建設課で管理してもらっているが、教員住宅の場合は、全然手が入っていない状態なので、あそこの管理をちょっとやってもらいたいと思います。
総務課長	教職員住宅のところなんですけど、お話しをお伺いしています。 今現在は、普通財産ということで総務課が管理しておりますので、ちょっとそこの管理が行き届いてないということでご指摘も伺っております。 近日中に、草刈り等をする予定でございますので、また、確認をいただけたらと思います。申し訳ございません。
委員	建物は、もうそのままですか。
総務課長	一度学校の教職員住宅を廃止するときに、そこの住宅が少なくなったので、町営住宅の管理に使えないかというような話が一度出かけたことがあったんですけども、今の住宅数で足りるということでその話が流れてから、1回は購入とか、いろいろな方法で募集もしてみたりはしたんですけども、応募がなかったということで、そのままの状態になっております。 今現在は、こういうふうにご利用しようという形はないんですけども、こちらのほうにつきましても、もし、地元の方から何かご提案とかございましたら、またご意見をお伺い出来たらと思います。
会長	総務課の方としても課題ですが、地元としても、ちょっとまた一つ、いろいろな方法を考える機会はないものでしょうか。
委員	教員住宅は、ぼろぼろだし湿気が多く、全部の座が抜けている。
町長	住宅はあそこ以外にもあり、綺麗に取り壊してしまわないといけないという話をしている。
委員	それでは、その土地を売るんですか。
町長	建物も綺麗に壊さないと、多分値打ちがない。総津のところの山際に、建物があるかないか分からないぐらい蔓が巻いてしまっている住宅があって、玉谷にも同様の住宅があり、ちゃんと整備しないといけないと思っております。
会長	そういう方向に向いているということですので、ご理解いただきたいと思います。

他にございませんか。

委員

私の住んでいるところで関係していると言ったら、キャンプ場なんですよ。このところちょっと見に行っていないんですけど、割と今ソロキャンプと言うんですかね、随分、いつとき来ている人が多くて、やっぱり家族連れって言うより一人で、何か他の人とか入りたくないという感じでやっている人たちが多かったんですけど、あそこは今、管理とかそういう状態はどうなっているんでしょうか。ごみの処理とか。

副町長

長曽池のキャンプ場でよろしいでしょうか。

今、所管は建設課の方で管理しておりまして、おっしゃられるように、ここ2年間、コロナ禍でですね、ソロキャンプとかグループキャンプ、非常に多いということは聞いております。

コロナがひどい時は、閉鎖をしてですね、キャンプを出来ないように、飲食が伴いますので、そういう対応をしてみましたが、今の公園管理の臨時の職員、会計年度任用職員がおりますので、順番に銚子ダム公園のキャンプ場とかも含めてですね、公園管理ということで回っておりますので、一応そちらのほうで、ごみ処理のこととか、トイレトペーパーの補充であったり、水道のカランのところであったりっていうのは、定期的に清掃に回っておろうかと思えます。

委員

トイレの清掃とかそういう部分も含めてですか。

副町長

トイレの清掃も含めて、消耗品の補充を含めてやっております。

委員

ありがとうございます。

委員

キャンプ場とかの清掃とかいうのは、キーパーが受けて1年間やることになっております。週2回は行って、トイレの清掃等はやっております。それで1番問題なのは、水なんですよ。トイレの水が、今は詰まって出ないと思うんですよ。ポリタンクを何本か置いて、それに対応しております。キャンプする方にも、一応伝えておりますので、水が足りなくなったら池の水を汲んでよということでございます。

多分、委員さんの家の前の道を登って行くんじゃないかと思うんですけど、ナビで行ったら、多分その道が出てくると思うんで、こっちの過疎農道とか新しい広い道路の方は、あんまり、たまには通る方もおられるんですけど、旧道の方を登って行く方が、結構、池のそばで仕事をしたとき、結構おったんで、できれば、こっちの過疎農道という、総津長曽池線、あっちのほうに通れるような看板とかがあればありがたいかなと思っております。

副町長	すみません。間違った答弁をしてしまいまして、誠に申し訳ありません。 先程言われましたトイレの水であったり、手洗いの水等は、また、所管の建設課の方にパトロールに行かして見て、確認させておきます。道の件につきましても、また看板等が必要であれば、その部分に確認をさせていただいて、事情を聞かせていただいて、設置できるところを設置したらと思いますので、ご理解いただけたらと思います。
会長	よろしく願いいたします。他にございませんでしょうか。
委員	先程、上尾の町有地の件が出ましたけど、何をつくるにしてどうするにして、入口も今、何かこう分からないような、何かこうちょっと整備でもしてみたらどうかなと思うんですけど。道路つけるなり、そしたら、広さなんかも 10 ヘクタールって言われるんですけど、感覚的に分かりませんし、誘致するにしても、どっかに使ってもらうにしても、何か、まず、道路とか簡単に整備多目的広場みたいな、簡単に整備してみたら、誘致の話も、何か出やすいかなと思ったりもするんですけど。 ただ、ただの山でしかないから、余り人も寄ってこないかなと思うんですけど、すいません、失礼しました。
会長	あそこは広田村時代、娯楽場とかいう話が出ったんですかね。
委員	そんなことをいろいろ検討した時期があるにはあったのですが、夢みtainなこともあったかもしれないですけど、それでいろいろ現実味が、現実的にできるかどうかというふうな話になると、なかなか難しかったということになるんでしょう。もう、30 年そこら経ってるんですけど、余りにも、どんなかなと、何かいいものがあれば、それは考えていかんといかん話だろうと思います。
町長	農地には使えないのか。前から言っておるんですが、広田ってその高原野菜の産地で満穂が中心にやっていますが、今 400 メートルぐらいな標高で、ちょっとこう、温暖化で、もうちょっと高いところが適地じゃないかという話で、今、砥部でもミカンの中山間で整備を始めるんだけど、どっかに良い土地があったら圃場整備したらと思うんだけど、野菜がこれだけ高原野菜産地やけん、割合前からいろいろ言うけど、良い土地があって、ここだったら広い農地が取れるなという土地があったら、またご意見ください。
委員	あそこ景色がいいんですかね。高いところで。何であの土地を広田時代に、あの土地を言ったら、村が買い上げたのかなと思って。景色が良かったり、何か、何かあったんじゃないですか。当時のことをよく分からないので。

委員	私もちょっと細かいところまでは分かりませんが、上の山のうねというか、あの付近はあれですけど、平地がないですから。
町長	先程、道路のことを言われておりましたが、国道沿いなので道路は問題ないとして、川があるので、広い土地も埋め立てたりできないし、川を挟んで利用するんだったら平地があるんだけど。
会長	あんまり山が高くないから、山を崩して畑にしたら、いいぐらいの土地じゃないですかね。
委員	最初は運動公園やったのを、河川があるもんでなかなか難しかったこともあったんです。
町長	全部付け替えるのは無理だけど、平地にしたら広い土地になるでしょう。
委員	河川がなかったらかなり広い土地になっている。今の状態で、何かいい活用方法があればということで。
会長	これもご意見として聞いて、委員の皆さんも一つ考えていただいて、何かいい案があれば、また出していただきたらと思います。また、町のほうでも、何かいい方法があれば、一つよろしく願いしたらと思います。
委員	先般、砥部町さんのホームページで、地域おこし協力隊を募集されているのを拝見したのですが、その応募状況はどうなっているのでしょうか。それと、さらに地域おこし協力隊を採用される場合、配属先といいますか、以前広田に地域おこし協力隊の方がいらっしゃったかと思うんですけども、採用された場合にどのように、旧砥部のほうなのか広田のほうなのかっていう、現時点での何かお考えがあればお聞きしたいなと思います。お願いします。
副町長	今のご質問なんですが、まず、地域おこし協力隊でございますが、今、企画政策課のほうで募集をかけております。 先般から大阪とか東京とかに赴いて、募集活動を愛媛県下の市町が協力してやっている状況でございますが、何名かはお話しを聞きに来ていただいたというふうに伺って、1名面接するようなところまでいっておったんですが、辞退されて途中で、今現在はおりません。 ミッションタイプとか、ミッションがないというタイプというのが、例えば、ふるさと納税のことを取り組んでほしいとか、企業版のふるさと納税に取り組

んでほしいとか、いろんなミッションを、課題を出しておりますので、課題によって所属配属先も変わってきましょうし、住むところも変わってこうかなと思っておりますので、その協力隊員さんの募集といいましょうか、応募の中で、ミッションが決まっていくような形になることがありますので、今はまだ何も決まっております。

会長

今の質問に対して、他にご意見ございませんでしょうか。

委員

地域おこし協力隊の話が出たので、ちょっと自分が考えていることで、またちょっと聞いてもらったらいいなと思うんですけど、協力隊も今日本全国でも結構たくさんの人がやっぱし、なかなか、実績がないところには流れてきにくいのかなというのが現実だなと思ってですね、地域おこし協力隊っていうのは、やっぱり都市部から地方に来て、ミッションをこなしていくというような形なんですけど、やっぱそういうのを見て、実は何で他所の人が来て、こう地元の子とかが俺も帰ってそういうことをやってみたいと思ってる子がおったりするんじゃないのかなと思って、地元おこし協力隊みたいなものが出来て、制度が作れたら面白いのかなと。

地元広田の子が、広田の地域を活性化することを仕事にできるのであれば、帰ってきたいなと思っている子もいるのかなと思ったり、多分そういうことだったら、どこかの息子やったら、協力してやろうかっていう人も出やすいのかなと思って、そういうことが出来たらちょっと面白いかなと思っているので、もし、またちょっと検討してもらったらいいなと思うので、またちょっとよろしくをお願いします。

副町長

はい、ありがとうございます。

私どももそういう方向で考えたいなと思っておったんですが、まず例えば広田地域の方で、そういう方がいらっしゃったら、是非履歴書を出していただいでですね、面接をさせていただいて、即採用みたいなことになっていこうかと思います。元々の地域おこし協力隊の根本は、過疎地域に人口定住、少子化を解消するための施策として起こったものなんですね。

そういう方が帰ってきていただいて、そこで結婚されて定住していただくということを、私ども目指してますので、是非、広田地域の方で、そういう方で、Iターン・Uターン、外へ出られている方で、帰ってきてやってやろうじゃないかという方がいらっしゃいましたら、是非、一声掛けていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

委員

地域おこし協力隊のお話しがあって、委員の言われたことはごもつともだと思ったんですけど、そういうのが実際私も3月までは東京に住んでまして。実際Uターンした身で、関係者の方にも、地域おこし協力隊にならないかという

ことで、実際にご提案とかご相談いただいた経緯があったんですけど、実際にそれを自分がいいなと思って検討してみたんですけど、一つ雇用形態という形でちょっと問題が自分としては感じて、その会計年度任用職員という形なんですかね。多分その、何時から何時に、砥部町の一職員としてのいわゆる縛りというか、近い職員として働いてくださいっていう点があって、全国的にも割とその町職員の何て言うんですかね、下働きじゃないんですけど、そういう点で実際にやりたいことが出来ないとか、雑務になっちゃってるみたいなのところがあって、最近ではそういうことに対して、地域おこし協力隊もある種の個人事業主として町から業務委託を受けるという形で、自由にその人がやりたいことを、町の仕事だけじゃなくても、個人的にやりたいことがあれば、そこで収益を上げて大丈夫みたいな制度が出来てきているということで、そういう形だったり、その副業という形も、すごく今はやってきているので、都市部の方々とかも参加し易いのかなと思うんですけど、確か今の制度だと月 15 万円か 16 万円ぐらいの給料だと思うんですけど、その中で砥部町の地域おこし協力隊だけに人生の 3 年間で投ずるっていうのは、まあまあいわゆるハードルが高いのかなあとと思うので、今後、そのセールスでも素晴らしいことだと思うので、実際に若い人たちを外から呼んでいくのであれば、その受け入れの雇用形態としてはもう少し改善っていうか、そういう選択肢を増やしてもいいのかなというふうに、はい、考えております。また、ご検討いただけたらと思います。

副町長

まず、雇用形態につきましては、町の庁舎内でも、やはり応募がないということで、雇用形態を改善いたしました。基本給も 18 万円ぐらいまで上げたのかな、ちょっと給与の詳細は分かりませんが、そういう対応をさせていただいても来ていないということがありますので、今、ご提案いただきました兼業・副業も含めてですね、雇用形態のご提案をいただきましたので、企画政策課が担当課でございますので、持ち帰りまして、また次年度に向かっての応募要項・要領について、検討させていただけたらと思います。

将来は、3 年後、そういう今ご提案いただいたことを、生業になるようにしていくのが、やはり本来かなと思いますので、極力そういう方向にできるように考えて検討させていただけたらと思いますので、お願いいたします。

会長

委員から貴重なご意見が出ましたので、一つよろしくお願ひしたいというふうに思います。他にございませんでしょうか。

特にないようでございましたら、本日の議事のほうを終了したいと思います。

事務局

閉会宣言